

当社の石油製品供給体制について（第12報 4月5日16:30現在）

このたびの東日本大地震で被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げます。

現在、被災地におきまして、ガソリンスタンド等へのガソリン・灯油など石油製品の供給不足により、お客様には多大なご迷惑とご心配をお掛けしております。

当社は、石油製品の供給安定化に向けて下記のとおり全力を挙げて取り組んでおりますので、ご理解を賜りたくお願い申し上げます。

記

1. 生産体制

仙台製油所、鹿島製油所の生産装置につきましては被災による損傷が大きく停止中です。

今後、再稼働に向けて全力を挙げ、本年夏ごろまでに、鹿島製油所における生産再開を目指します。仙台製油所の生産再開につきましては、相当の時間を要するものと見込まれることから、まずは本年夏を目標に、入出荷機能の復旧に向け取り組んでまいります。

なお、生産能力低下を補うため、石油製品輸入および他の石油会社からの製品購入等を実施しております。また、輸出入石油製品の国内向けへの振替えを行っております。

製油所 操業状況

製油所	精製能力(千BD)	生産(精製)装置稼働状況/出荷状況
室蘭	180	・フル生産中 ・通常出荷に加え、東北地方へタンカー(船)で転送
仙台	145	・被災により生産・出荷※とも停止 ※但し、仮設の設備から僅かな数量の出荷を実施中
鹿島	252.5	・被災により生産停止 ・在庫および西日本からの転送により通常出荷
根岸	270	・フル生産に向け順次稼働率アップ中 ・通常出荷に加え、東北地方へタンク車(鉄道)で転送
大阪	115	・定期修理により生産停止中(3/11~4/13) ・輸出用の在庫を国内向けに振替えて出荷
水島	400※	・一部生産装置(115千BD)が定期修理により停止中(4/1~5/25) 停止中装置を除きフル生産中 ・通常出荷に加え、関東地区へタンカー(船)で転送
麻里布	127	・フル生産中 ・通常出荷に加え、関東地区へタンカー(船)で転送
大分	136	・フル生産中 ・通常出荷に加え、関東地区へタンカー(船)で転送

注)コンデンセートスプリッター(鹿島63.5千BD、水島(研究設備)35千BD)込み  
※3/21に精製能力を20千BD増強

## 2. 東北地方への供給体制

「国、自治体が優先する先」「救命、救急に関わる先」を最優先としつつ、ガソリンスタンド(ENEOSサービスステーション)等への供給体制回復を図っております。

仙台製油所の出荷停止により供給体制に最も大きな影響を受けている仙台地区において、塩釜油槽所(東西オイルターミナル株式会社運営)の一部利用開始、出光興産株式会社・塩釜油槽所の出荷時間延長などにより、東北地方への供給量(北海道や関東から船や鉄道により転送)は概ね災害前の水準まで回復できる見通しとなりました。

また、出荷基地(油槽所)からガソリンスタンド等へ製品を輸送するタンクローリーの不足への対策として、西日本や北海道より東北地方(新潟を含む)へまもなく約150台のタンクローリーの搬送が完了することから、4月中には各地域の供給を正常化できる見通しとなりました。

### 東北地方へのタンクローリー出荷基地(油槽所)

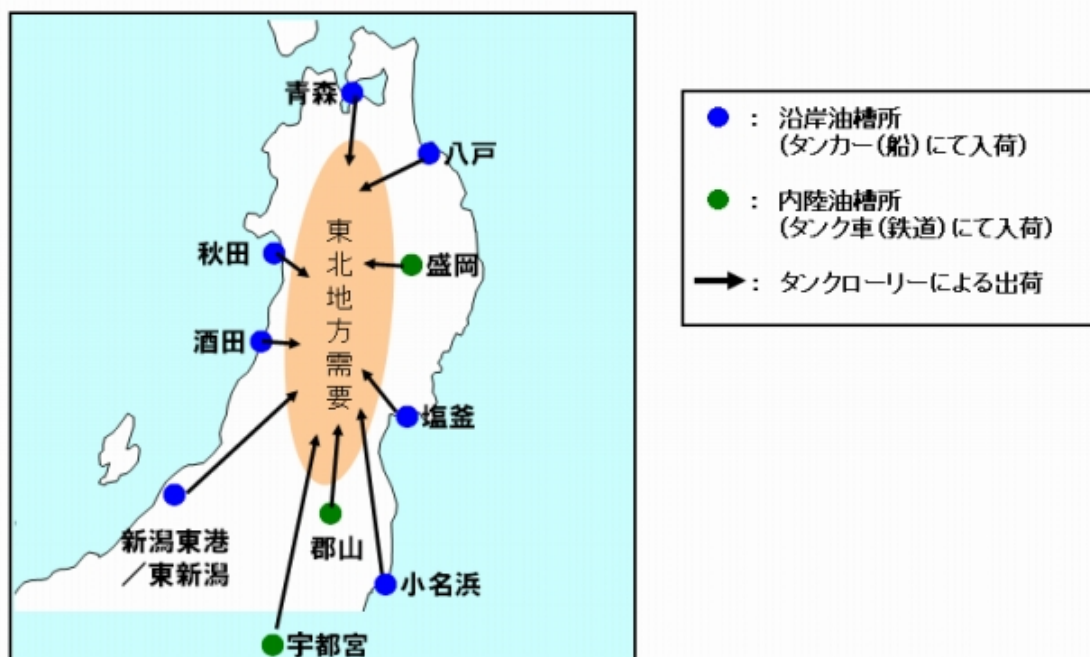
立地	油槽所名	主な供給ルート(転送元)等
日本海沿岸	青森※1、秋田、酒田※1、新潟東港、東新潟※1	室蘭製油所より(タンカー(船))
太平洋沿岸	八戸、八戸※1、塩釜※1、塩釜※2	室蘭製油所等より(タンカー(船))
	小名浜、小名浜※1	関東地区等より(タンカー(船))
内陸部	盛岡※3、郡山※3、宇都宮※3 (宇都宮の主な出荷先は関東)	根岸製油所より(タンク車(鉄道)) 郡山は新潟からのタンクローリー転送あり (盛岡、郡山は関東から転送したドラムでの出荷もあり)

※1: 東西オイルターミナル株式会社運営

※2: 出光興産株式会社運営(出光興産株式会社との共同利用)

※3: 日本オイルターミナル株式会社運営

## 3. 東北地方への供給体制イメージ図



## 4. 被災地のガソリンスタンド設備復旧計画

現在、被災地の多くのENEOSサービスステーションでは、建物・機器破損等により、稼動に支障が生じております。

また、稼働が可能と確認されたSSにおいても、計量機や配管等の一部破損による給油能力の低下、在庫状況による休業や営業時間の短縮（在庫が切れた段階で閉店等）、緊急車両のみを対象とした営業などにより、お客様には多大なご不便をお掛けしております。

こうしたなか、安全確認の徹底と破損した設備の復旧を早期に行うために、以下のとおり、東北地方の全ておよび茨城県・千葉県※の太平洋沿岸地区のENEOSサービスステーションの設備復旧に向けた調査および補修を実施いたしております。

【ガソリンスタンド設備復旧計画 概要】

- 対 象 : 東北6県の全て(原発トラブルによる避難地域は除く)  
および茨城県・千葉県※の太平洋沿岸地区のENEOSサービスステーション
- 実施内容 : 設備調査および必要となる補修(全壊した計量機の交換 等)
- 日 程 : 3月30日～4月11日 建物や計量機等の設備詳細調査  
4月 4日～5月15日 タンク・配管の気密検査・水分検査  
(必要な補修は調査後、速やかに実施)
- 体 制 : 当社および計量機メーカー、看板メーカー、検査会社による  
専任チームを組織(合計 約120名体制)

※茨城県・千葉県においては、太平洋沿岸地区ではなくても、復旧支援が必要とされるSSは調査および補修を行います。

被災地のENEOSサービスステーション(SS)の状況:4月4日現在

	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	東北計	茨城	千葉
SS数	152	192	241	174	151	298	1,208	533	498
稼働が可能と確認されたSS	151	<u>174</u>	<u>209</u>	174	150	<u>270</u>	<u>1,128</u>	<u>522</u>	<u>495</u>

以 上

● 東北地方におけるENEOSサービスステーションの運営状況について

東北地方のENEOSサービスステーション(ガソリンスタンド、以下「SS」)の運営状況は、当社ホームページの「東北地方の営業中のENEOSサービスステーション一覧」または 「サービスステーション検索」でご確認願います。

掲載しているSSは、最新の調査時点で営業が確認されているSSです。(震災の影響等により休業しているSSは、掲載しておりません)

ただし、販売状況により在庫切れが発生したり、緊急車両のみを対象とした営業の場合もあります。また、サービスステーション(SS)検索で表示されている営業日や営業時間は通常時のものであり、実際とは異なる場合があります。各SSの詳細な運営状況については、大変お手数ですが、各SSに直接お問合せ願います。

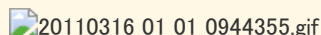
<「東北地方の営業中のENEOSサービスステーション一覧」掲載ページ>

パソコン : <http://www.noe.ix-group.co.jp/emergency/index.html>

<サービスステーション検索 サイト>

パソコン : <http://eneos-ss.com/search/ss/pc/top.php>

携帯サイト:



● 【お問い合わせ先】

ENEOSお客様センター :0120-56-8704 (9:00~17:00)

※個別のガソリンスタンドの運営状況およびタンクローリーの配送状況のご案内はいたしておりません。

※朝方などは、電話が集中してつながりにくい場合がございます。

その場合は、恐れ入りますが、お時間を置いてお問い合わせいただきますようお願い致します。

